



# 美しい 県土づくりNEWS

2024年  
2月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第234号  
令和6年3月1日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 小屋畑川広域河川改修事業  
河道付替工事の安全祈願祭が開催されました！
- 4 いわて花巻空港は開港60周年を迎えました！  
～記念企画として歓迎イベントとパネル展を開催～
- 6 令和5年度の高校生との協働による橋梁点検を実施しました！
- 9 令和5年度 第48回土木技術研究等発表会を開催しました
- 13 「いわてポートフォーラム2024in東京」を開催！
- 15 一般社団法人日本補償コンサルタント協会と災害協定を締結しました
- 16 人口減少対策につながる取組事例集～社会減対策編～について
- 17 岩手県県土整備部では、岩手県の将来を担う技術系職員を募集しています！
- 18 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等を紹介します！



## 小屋畑川広域河川改修事業

### 河道付替工事の安全祈願祭が開催されました！



令和6年2月8日（木）、小屋畑川広域河川改修事業  
河道付替工事の安全祈願祭が開催されました！

## 小屋畑川広域河川改修事業

### 河道付替工事の安全祈願祭が開催されました！

県北広域振興局土木部

県では、令和元年東日本台風に伴う豪雨により大きな浸水被害が発生した小屋畑川において、令和3年度から広域河川改修事業を進めています。

令和6年2月8日(木)、本事業の根幹である河道付替工事の着手に先立ち、工事受注者(宮城建設株式会社・兼田建設株式会社)主催による安全祈願祭が開催されました。

当日は、県、久慈市、地元選出県議会議員、関係機関、地元町内会長など約30名が出席し、鍬入れ、玉串奉奠等の神事を行った後、坊良県北広域振興局長が「令和8年度の事業完成を目指して着実に工事を進め、本地域の安全性向上を図る」と挨拶を述べ、早期完成を誓いました。



【安全祈願祭】



【鍬入れの儀(坊良局長)】



【発注者挨拶(坊良局長)】



【施工現場】

#### ■広域河川改修事業等の概要

久慈市の久慈川水系長内川及び小屋畑川において、令和元年東日本台風により、床上浸水123戸、床下浸水110戸の甚大な浸水被害が発生しました。このため、県では、小屋畑川において延長約1kmの河道付替等を、長内川において新街橋の架替や河道掘削等を実施し、地域の安全性の向上を図ります。

【全体計画(概要)】  
 河川名: 二級河川久慈川水系小屋畑川  
 事業内容: 河道付替(延長約1km、  
 河道幅約14m、深さ約2m)、  
 橋梁架替2橋、橋梁新設3橋、  
 樋門1基、河道掘削等  
 全体事業費: 約70億円  
 事業期間: 令和3年度～令和8年度  
 事業主体: 岩手県

【工事①概要】受注者: 兼田建設㈱  
 工事名: 二級河川小屋畑川筋長内地  
 区伏せ越し水路新設工事  
 工事内容: サイホン工1基  
 受注額: 64,570千円  
 工期: R5.11.24～R6.8.16

【工事②概要】受注者: 宮城建設㈱  
 工事名: 二級河川小屋畑川筋長内地  
 区新川2号橋橋梁下部工ほか  
 工事  
 工事内容: 橋台2基、  
 場所打杭工15本  
 受注額: 211,640千円  
 工期: R5.11.24～R6.10.10



※小屋畑川安全祈願祭の状況

<https://www.pref.iwate.jp/kenpoku/doboku/oshirase/1071994.html>

■久慈圏域流域治水プロジェクトの策定とパネル展示について

久慈市では平成28年台風第10号及び令和元年東日本台風の豪雨により、市街地を中心に甚大な浸水被害が発生しました。こうした状況を踏まえ、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を計画的に進めるため、久慈圏域流域治水プロジェクトを策定し、公表しました。

また、小屋畑川広域河川改修事業の本格着手を契機に、現在取り組んでいる治水対策事業等を紹介するため、2月8日(木)～29日(木)に県久慈地区合同庁舎と久慈市役所でパネル展を開催しました。

3月1日(金)以降は、県久慈地区合同庁舎5階エレベーターホール及び県ホームページから御覧いただけます。

※パネル展示について

<https://www.pref.iwate.jp/kenpoku/doboku/oshirase/1071987.html>



# いわて花巻空港は開港60周年を迎えました！

～記念企画として歓迎イベントとパネル展を開催～

港湾空港課

いわて花巻空港は、令和6年2月15日（木）に開港60周年を迎えました。

これまで以上に、いわて花巻空港を身近に感じ、より多くの方々に空港を利用していただくため、令和7年3月までの間、開港60周年を記念したイベント等を開催し、空港全体を盛り上げていきます。



## ✧✧✧【2月15日（木）のスタートイベントの様子】✧✧✧

いわて花巻空港開港60周年の当日は、県や航空会社スタッフが、いわて花巻空港に降り立った乗客をお迎えしたほか、県産品の菓子やりんごジュースを配布する歓迎イベントを開催しました。



到着客歓迎イベントの様子



到着客お出迎えの様子



はなっぴーも取材していただきました



大阪便お見送りの様子

【記念パネル展の様子】

いわて花巻空港開港 60 周年を記念し、花巻空港の歴史を振り返るパネル展をいわて花巻空港ターミナルビル2階出発ロビーで開催します。

○いわて花巻空港ターミナルビル2階出発ロビー  
令和6年3月8日(金)～3月25日(月) ※3月14日・15日を除く

いわて花巻空港のこれまでの歩みや東日本大震災発災時に果たした役割などを紹介していますので、是非御覧ください。



パネル展ポスター



県民室での先行展示の様子



県民室での先行展示の様子



県民室での先行展示の様子

【開港 60 周年特設ページを開設しました】

岩手県ホームページに開港 60 周年特設ページを開設しました。いわて花巻空港の歩みや今後開催するイベント等の情報を紹介していきますので、是非ご覧ください。

【開港 60 周年特設ページ】  
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kouwankuukou/airport/1071391/index.html>  
➡出張や旅行の際は、是非、いわて花巻空港をご利用ください🛬  
【岩手県空港利用促進協議会 HP】  
<https://www2.pref.iwate.jp/~hp0615/conference/conference.htm>

## 令和5年度の高校生との協働による橋梁点検を実施しました!!

～ 道路インフラメンテナンスの理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を推進～

### 道路環境課

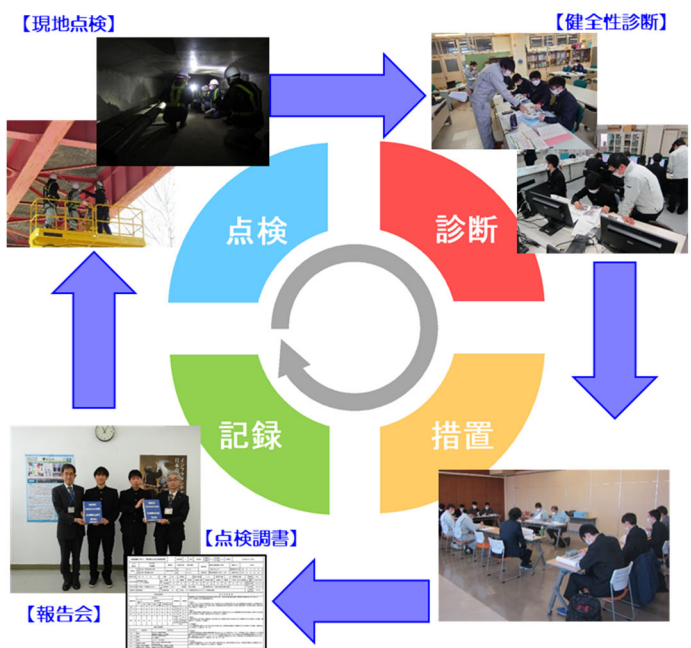
県が管理する道路橋（約 2,800 橋）は、建設後 50 年以上経過する橋梁の割合が現在の約 4 割（約 1,100 橋）から 20 年後には約 8 割（約 2,200 橋）と大幅に上昇する見込みです。予防保全に向けた計画的な維持管理とそれを支える担い手の確保・育成が重要な課題となっています。

県では、道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解向上と、自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支えるという土木の魅力を感じていただくことにより、将来のインフラメンテナンスを担う土木技術者の担い手の確保・育成を推進するため、県内の土木系学科の高校生との協働による橋梁点検に取り組んでいます。

令和 5 年度は、県内の土木系学科を有する全 5 校（盛岡工業、黒沢尻工業、一関工業、久慈工業、花巻農業）と協働し、橋梁点検を実施しました。

令和5年度の高校生との協働による橋梁点検の実施状況					
対象高校		点検数	実施年月日		
			現地点検	健全性診断	報告会
盛岡工業	土木科 3年生 (6人)	1橋	R5.11.24	R6.1.12	R6.2.14
黒沢尻工業	土木科 3年生 (6人)	2橋	R5.11.6	R5.12.4	R6.2.13
一関工業	土木科 3年生 (6人)	1橋	R5.11.20	R6.1.26	R6.2.9
久慈工業	建設環境科 2年生 (2人)	2橋	R5.11.28	R6.1.11	R6.2.16
花巻農業	環境科学科 3年生 (9人)	2橋	R5.11.27	R5.12.20	R6.1.22

メンテナンスサイクルの流れに沿って橋梁のメンテナンスを実習形式で学習

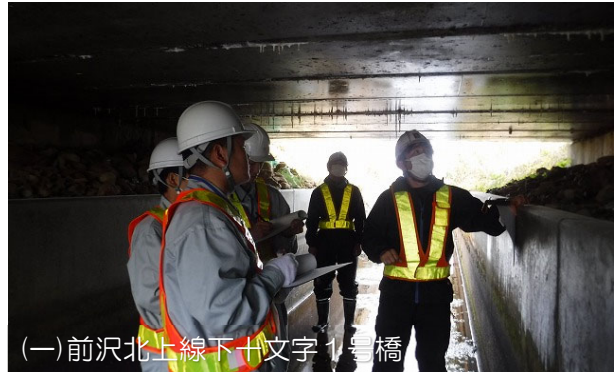


現地点検では、県の老朽化対策の取組等を学んだ後、県や建設コンサルタントの指導を受けながら、各高校 1～2 橋（全 8 橋）の点検を行いました。

現地点検に参加した生徒達は、ハンマーによる打音検査やクラックスケールを用いたひび割れ計測等により、橋梁の劣化状況等を熱心に点検していました。また、最新の点検技術を体験していただくため、ドローン等の新技術を活用した点検も実施しました。生徒たちは、最新の点検技術を興味深く学んでいる様子でした。

現地点検の終了後、岩手県道路橋定期点検要領に基づく橋梁の「健全性診断」を行い、各高校から県に対し、点検成果を報告いただく「報告会」を開催しました。

■現地点検の様子



■「健全性診断」及び「報告会」の様子

▼健全性診断



▼報告会





# 令和5年度 第48回

## 土木技術研究等発表会を開催しました

建設技術振興課

令和6年2月2日(金)、盛岡市のプラザおでってで第48回土木技術研究等発表会を開催し、県や市町村、公社等の職員の約120名が参加しました。

本発表会は、自治体や公社等の技術職員による業務成果発表を通じ、**相互の情報共有及び技術力の研鑽と向上を図ることを目的**として開催しているもので、昭和47年度の第1回開催から48回を数え、県土整備行政に携わった多くの諸先輩方から、半世紀に渡って**知識・経験を参加者に継承**しています。

※(公財)岩手県土木技術振興協会及び岩手県建設技術協会との共催による開催

### 発表の概要

#### ○ 特別講話 東北自動車道リニューアル

(東日本高速道路(株)東北支社 盛岡管理事務所 加藤所長)

東北自動車道リニューアル工事のほか、NEXCO(東・中・西日本高速道路)が進めている更新計画(概略)について、特別講話がなされた。

点検技術の高度化に基づく調査結果により新たな損傷事例を紹介したほか、床版取替での最新施工システムや床版防水に係る要求性能とその基準値、コンクリート床版にも適用可能な新型グースアスファルト混合物、HiMA(高弾性アスファルト混合物)など、最新の工法や材料の特徴等について、紹介があった。

自治体の中々取り組むことのないような高度な工法や施工管理を学ぶ貴重な機会と捉え、受講者からは質問が活発に出されていた。



特別講話 東北自動車道リニューアル



東日本高速道路(株)東北支社  
盛岡管理事務所 加藤所長

### ○ 流域下水道の幹線整備と維持管理の取組について

(北上川上流流域下水道事務所 施設整備課 佐藤技師)

岩手県の流域下水道の概要や鶯宿幹線の整備概要、維持管理の取組について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・流域下水道は鶯宿幹線の整備をもって概成し、令和6年度に50周年を迎える。
- ・今後は維持管理が重要となるため管路台帳の電子化等の取組を進めている。
- ・下水道の適正な利用を促進するため、住民への広報活動に取り組んでいる。



北上川上流流域下水道事務所  
施設整備課 佐藤技師

### ○ 一般県道前沢北上線二ノ沢橋塗装塗替工事 低濃度 PCB 含有

(県南広域振興局土木部 道路河川環境課 小野寺主任)

昭和46年に架設された一般県道前沢北上線二ノ沢橋の塗装塗替工事について、施工状況や有害物質対策、処理方法について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・二ノ沢橋には含鉛塗料や低濃度 PCB が使用されており、有害物質対策として、湿式塗膜剥離やレーザークリーニングを併用した。
- ・PCB 特別措置法の内容や具体的な処分の流れを紹介する。



県南広域振興局土木部  
道路河川環境課 小野寺主任

### ○ 県営内匠田アパートリフレッシュ工事

(県南広域振興局土木部 建築指導課 高橋技師)

岩手県公営住宅等長寿命化計画に基づく県営内匠田アパートリフレッシュ工事における事業目的や工事内容について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・内装、設備等を更新することで既存ストックを長期活用し、長寿命化とライフサイクルコストの削減を図った。



県南広域振興局土木部  
建築指導課 高橋技師

### ○ 道路パトロール業務の見直しとその成果について

(一関土木センター 道路河川環境課 大森会計年度任用職員)

業務の見直しに至った背景やその進め方、3つの見直し内容とその成果について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・改善の3原則 N：無くせないか、H：減らせないか、K：変えられないか と課題解決の基本であるPDCAサイクルを活用して業務を見直し、コース別距離やパトロール時間の削減・平準化を図った。
- ・パトロール日誌の様式などを見直し、作成時間を約半分に短縮した。



一関土木センター  
道路河川環境課 大森会計年度任用職員

### ○ 閉伊川水門工事の整備状況について

(宮古土木センター 復興まちづくり課 山崎主任、佐藤技師)

閉伊川水門事業の概要や施工時に発生した課題への対応、現在の施工状況について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・ 定点観測用固定カメラを用いた左岸側構造物設置に係る一連の作業の記録映像や船舶航路の確保、周辺民家への騒音振動等の配慮、漁業期間の制限など様々な現場条件下で工事を進めている。



宮古土木センター 復興まちづくり課  
佐藤技師(左側)、山崎主任(右側)

### ○ ～東日本大震災から学ぶ～自然災害に備えた広報施策のあり方について

(東京都 水道局 サービス推進部 業務課 植竹主任)

岩手県商工労働観光部に応援職員として従事していた際に実施したアンケート調査とその結果から考える広報施策のあり方について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・ 災害用語の意味や機能を正しく普及させる必要がある。
- ・ 行政が平常時から災害関連の広報を徹底すべきという分析結果を紹介する。



東京都 水道局 サービス推進部  
業務課 植竹主任

### ○ 中心市街地における橋梁の架け替えについて ～都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋～

(二戸土木センター 道路整備課 井上主任主査)

岩谷橋の地勢や4代目となる架け替え事業の概要、景観計画を踏まえた道路施設の装飾、完成記念イベントなどについて、発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・ 地元から親しまれた歴史ある橋で、住民の思いを次の世代につなげるために、住民の意見を踏まえた計画策定を行った。
- ・ 様々な制約下で難易度の高い工事であった。



二戸土木センター  
道路整備課 井上主任主査

### ○ 岩泉土木センターにおけるICTの取組について

(岩泉土木センター 土木企画グループ 諸房主任)

管内における近年のICT施工実績や具体的な施工事例、ICTセミナーの取組事例、BIM/CIMの取組状況について発表がありました。

#### 【発表概要】

- ・ 水陸両用ブルドーザーによる出来形管理は全国で初めての取組である。
- ・ 「ICT施工普及のために、経営者をターゲットにした普及活動も必要である。」といったICTに取り組む受注者の声を紹介する。



岩泉土木センター  
土木企画グループ 諸房主任

### ○ 沿岸土木部管内での令和元年台風第19号豪雨に伴う土砂災害対策について

(沿岸広域振興局土木部 復興まちづくり課 徳田技師)

令和元年10月に発生した台風第19号の豪雨災害に伴う砂防事業の実施や具体的な取組事例、現場見学会の開催状況などについて発表がありました。

**【発表概要】**

- ・砂防堰堤のコンクリート打設において、他の工事現場と打設日程を調整した。
- ・堤長が長いことを利用した互い違いの打設により、約3か月の工期短縮を図った。



沿岸広域振興局土木部  
復興まちづくり課 徳田技師

### ○ 大船渡土木最後の復興事業 普金地区防潮堤整備事業について

(大船渡土木センター 復興まちづくり課 磯崎技師、宮本技師)

津波の被災状況を踏まえた大船渡港全体の防潮堤整備計画、普金地区防潮堤整備に関する土木工事及び陸閘設備工事等について発表がありました。

**【発表概要】**

- ・県道とセメント工場に挟まれた狭隘な作業ヤードに対応するため基礎杭の打設工法を使い分けした。
- ・陸閘ゲートの製作にあたり6分割することで部材のたわみを少なくした。



大船渡土木センター 復興まちづくり課  
磯崎技師(左側)、宮本技師(右側)

岩手県県土整備部 加藤部長から参加者に対し、「**取組を振り返り、成果を共有することが、個人の能力を高め、ひいては組織力を高めていくことに繋がる。聴講される皆様においては、それぞれの取組成果をしっかりと聞いていただき、知見を広め、今後の業務に役立てていただきたい。**」というメッセージが伝えられました。

**未来の県土づくりの礎**となる職員の技術力の研鑽・向上のため、引続き**本発表会を通じて地域の発展に寄与していきます。**



加藤県土整備部長



意見交換

# 「いわてポートフォーラム 2024 in 東京」を開催！

港湾空港課

令和6年2月5日（月）、「**いわてポートフォーラム 2024 in 東京**」を開催しました。当日は、都内に大雪警報が発令される悪天候にもかかわらず、93社168名の多くの企業・団体の皆様に御来場いただきました。

本フォーラムは、本県に立地している荷主企業の首都圏の本社等や、物流事業者、船社等に対し、**県内港湾利用のメリットや復興道路等の利便性等**を紹介し、**県内港湾の利用拡大や臨海部工業用地への企業立地を促すことを目的に開催**しました。

フォーラムの冒頭、達増知事から、御来場の皆様へメッセージを送ると共に、八重樫副知事から、以下の項目のプレゼンを行いました。

## ○世界と結ぶ 黄金の國、いわての港

本県への復興支援に対する感謝の言葉。

## ○岩手県の港湾の“いま”

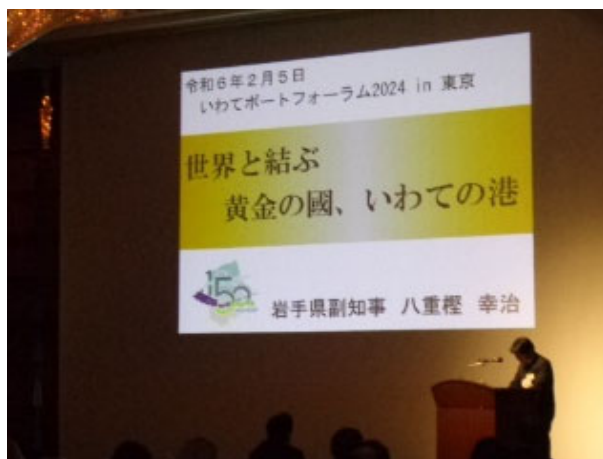
復興道路・復興支援道路が完成し、本県港湾を利用した海上輸送の利便性が向上したこと、クルーズ船のオプションツアーの圏域が大幅に拡大したことなど。

## ○岩手県の港湾の“これから”

県内の物流拠点の整備状況や、京浜港から県内間における長距離陸上輸送から県内港湾利用へのモーダルシフトのメリットなど。



▲達増知事メッセージ



▲八重樫副知事プレゼン

副知事プレゼンに続き、重要港湾所在市である大船渡市、釜石市、宮古市及び久慈市の各市長から、それぞれの港湾のメリット及び支援施策等をPRし、その後の講演で、N×総合研究所の大島常務取締役様から、物流の2024年問題の対応を講演いただきました。



▲大船渡港のPR（瀧上大船渡市長）



▲釜石港のPR（小野釜石市長）



▲宮古港のPR（山本宮古市長）



▲久慈港のPR（遠藤久慈市長）

その後、第2部の情報交換会を開催しました。太平洋セメント株式会社の不死原代表取締役社長から、本県港湾の利用拡大の応援メッセージをいただくなど、主催者と来場者の一体感が醸成されるフォーラムとなりました。

県では、本フォーラム等をはじめとするポートセールスを通じ、本県港湾の利用促進に取り組んでいきます。



▲応援メッセージ  
太平洋セメント 不死原取締役社長



▲意見交換の状況

## 一般社団法人日本補償コンサルタント協会と 災害協定を締結しました

県土整備企画室

このたび、岩手県県土整備部と一般社団法人日本補償コンサルタント協会東北支部岩手県部会は、令和6年1月26日（金）に『災害時における応急対策業務に関する協定』を締結し、同日、締結式を行いました。

### 1 協定の概要

岩手県内で大規模な災害等が発生し、道路や河川等、県が所管する公共土木施設等が被災するなどした場合に、その応急対策業務に伴う土地調査及び補償調査等への協力を岩手県から一般社団法人日本補償コンサルタント協会東北支部岩手県部会に要請することが可能となりました。

### 2 要請する業務の内容

- (1) 工事の施行に必要な土地の範囲及び権利者の調査
- (2) 工事の施行に必要な土地若しくは物件又は権利の取得又は使用に伴う通常生ずる損失に関する調査及び補償額の算定
- (3) その他、県が特に必要と認める業務で協会が協力することを承諾した業務

### 3 協定の締結により期待される効果

災害発生時に、被災した公共土木施設の応急対策業務を迅速かつ円滑に実施することが可能となり、被害の拡大防止と被災施設の早期復旧等の効果が見込まれます。

## 災害時における応急対策業務に関する協定 締結式



#### ○加藤県土整備部長

この協定を、県民の生命と財産を守り、災害に強い岩手県をつくる一助として、災害発生時の対応力の更なる向上に取り組んでまいります。

#### ○植田会長

当協会では、早期復旧工事の一助になるように会員一同一致団結し、県民の皆さんの安心安全に寄与していきたい。



岩手県 Iwate Prefecture

おでんせ、いわて!

岩手県県土整備部における

人口減少対策につながる取組事例集

～社会減対策編～

について

県土整備企画室

岩手県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン「政策推進プラン」において、人口減少対策に最優先で取り組むこととし、「4つの重点事項」のひとつに「自然減・社会減対策」を掲げています。

また、人口減少に歯止めをかけていくための基本目標や施策をまとめた「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略」を、令和5年12月に改訂したところです。

オール岩手での人口減少対策を推進するため、県土整備部では、社会減対策につながるハード・ソフト両面における当部の取組を幅広く紹介する事例集を作成しました。

◆ 県ホームページで公開中!

県土整備部 社会減対策

岩手県トップページ > 県土づくり > 県土整備一般 > 県土整備の概要

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/syakaigentaisaku.html

ライフステージに応じた切れ目ない取組... 社会減対策... 29

住宅環境の取組... お試し居住体験... 5

観光・商工業の取組... 産業の振興につながる港湾の利活用... 16

県土整備部が実施する防災学習... 28

事例集では、28の取組を紹介しています!

- 住宅環境の取組：5事例
まちづくりの取組：4事例
観光・商工業の取組：7事例
道づくりの取組：4事例
建設業の取組：7事例
みらいを担う人づくり：1事例

ライフステージに応じた切れ目ない取組により、令和8年度までの「社会減ゼロ」を目指します。

県ホームページをスマートフォンで見るときはこちらから





# 岩手県県土整備部では 岩手県の将来を担う技術系職員を募集しています！

県土整備企画室

## 岩手らしい幸せのカタチを 一緒につくっていきませんか？

Iwate Prefectural Staff Recruiting Guide 2024

岩手県の技術系職員【総合土木・建築】の募集案内情報をまとめたガイドブックを作成しました。岩手県県土整備部の業務にご興味のある方は、ぜひご覧ください。

### 総合土木



### 建築



#### ※ 2 岩手県 県土整備部の仕事紹介！(土木職編)

**※ 岩手県総合土木職アピールポイント**

① デジタル技術で効率化と ② 事業や建設物の規模と

・デジタル技術を活用して、業務の効率化を図っています。最新の設備や機械を導入し、大規模な事業も実現しています。

・建設からの西日・復興事業を継続したノウハウを活かし、大規模な事業も実現しています。電線沿道の歩道整備など、さまざまな事業に取り組んでいます。

【岩手県総合土木職のアピールポイント】

① デジタル技術で事業や業務の効率化を図っています。ドローンや、道路で現場の様子を確認できるウェアラブルカメラなど、できることから取り組んでいます。

② 岩手県では、東日本大震災以降からの復旧・復興事業を継続してきました。事業は、これまでに比べて大きなものが多く、経験したノウハウを生かして、復興後の事業にも取り組んでいます。

③ 社会基盤の整備に関して、体系的にコーディネートしています。

社会基盤整備においては、まちづくり、事業を企画し、計画立案や調査を並進し、どんなものを建設するかの検討を行います。これらに建設現場のコンサルタント会社に発注し、現場にも関わっています。その後、設計された形状に合わせて制図となる用地を整理し、建設工事の段階に移ります。工事完成後も引き続きそれを維持管理していく必要があり、これらは主に建設会社に発注しています。

岩手県職員は、以上の一連の社会基盤整備にかかわることをトータルで進めるコーディネーター的な役割を担い、事業をデザインすることが可能です。

強い信頼に、協力を充実させるために、広い視野で立って業務に取り組んでいます。

**※ 岩手県総合土木職アピールポイント**

③ 社会基盤整備をトータルコーディネート

企画 調査 設計 用地の取得 建設工事 維持管理

コンサルタント会社 建設会社

**※ 世界でいちばん幸せな県をつくらう。**

～復興と 未来へ～

世界でいちばん幸せな県をつくらう。

令和6年(2024年)3月1日時点版

#### ※ 3 先輩に聞きました！

**建築**

岩手県 建築技術振興課

島越 康貴 Shimakoshi Yasutaka

平成24年度採用

より良い建築からより良いまちへ

● 採用から現在までの所属

平成24年度～ 盛岡広域振興局土木部 建築住宅設備管理課 技師

平成26年度～ 陸前高田市建設管理課 住宅推進係 技師

平成28年度～ 盛岡広域振興局土木部 建築住宅住宅課 技師

平成29年度～ 総務部管財課 技師

令和4年度～ 県土整備部建設技術振興課 主任

● とある1日のスケジュール

8:20 出勤、新聞チェック

8:30 メール、印書文書の確認

9:00 開会式対応

10:00 制度改正の資料収集

12:00 昼食、休憩

13:00 課内打合せ

15:00 制度改正の検討

17:30 退社、保育園の迎え

● 仕事内容

現在の仕事は、管轄工事における建築基準や工事で使用する資材の改定、工事の完成検査等、管轄工事における各種基準等に関する業務を中心に、建築に限らず様々な業務を担当しています。前任地の総務部管財課では、庁舎や公舎に関する改修工事の計画決定から設計・監理、法定点検や維持管理業務等を行っていました。前任の仕事は庁舎というハードを扱う、現場中心の仕事でしたが、現在は建築基準や技術基準といったソフトを扱う、デスクワーク中心の仕事をしています。

● 県職員を志望した理由を教えてください。

現在の仕事は建築基準や技術基準といった建築そのものを扱う仕事ではありませんが、公共施設の質の向上や建設業界のDXや働き方改革の推進等、持続的な発展に資する仕事だと考えています。また、業務内容は建築に限らず、建設業に関連した国や自治体の動向や制度等幅広く情報収集しながら県の基準や制度について検討を行うことから、視野が広がったと感じています。

● 県職員になる前に付けておいた方がよいと思うことを教えてください。

建築職は専門職ではありますが、建築関係法令に関する業務や、設計・工事に関する各種業務、都市計画関連の業務、その他様々な分野の仕事内容が豊富な知識や経験を身につけることができるやりがいのある仕事です。私は、岩手により良い公共建築物を造ることを一つの目標として、業務にあたってあります。より良い建築が生まれるためには、特に建築に理解のある県民や制度設計が重要だと考えているので、建築が好きなお人になびてほしいと考えています。

令和6年(2024年)3月1日時点版



岩手県 Iwate Prefecture おでんせ、いわて！

## 世界でいちばん 幸せな県をつくらう。

最新の情報は、岩手県人事委員会事務局のホームページでご確認ください ▶▶



## 『特集ページ』

# 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等を紹介します！

令和5年度の県土づくりNEWSでは、岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等」を9回に分けて御紹介します。

	<b>実施状況・事例等</b>	
<b>防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策</b>		
概要 p.3 岩手県の取組 p.3 予算の配分 p.4		
p.5	<b>1 効果事例</b>	河川 p.7 砂防 p.15 道路 p.20 港湾 p.31
p.33	<b>2 現在実施中</b>	河川 p.34 砂防 p.37 道路 p.39
p.45	<b>3 今後実施予定</b>	河川 p.47 砂防 p.52 道路 p.55 港湾 p.66
p.68	<b>4 現場の取組</b>	

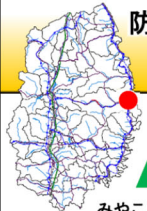
### ■特集ページのスケジュール

掲載予定	対策の状況	分野	内容等
R5.7月号	効果事例	河川、砂防	堤防等の整備、河川の堆積土砂撤去、砂防堰堤の整備、急傾斜地の崩壊対策
R5.8月号		道路、港湾	道路の斜面对策、舗装の補修、橋りょうの老朽化対策、岸壁の老朽化対策
R5.9月号	現在実施中	河川	堤防等の整備、内水対策、洪水浸水想定区域図の公表
R5.10月号		砂防	砂防堰堤の整備、土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応
R5.11月号		道路	道路の斜面对策、橋りょうの老朽化対策、道路の整備
R5.12月号	今後実施予定	河川、砂防	河川整備における今後の取組の背景、河川の堆積土砂撤去、ダム設備の補修、砂防堰堤の整備・老朽化対策
R6.1月号		道路	道路整備における今後の取組の背景、道路の整備、無電柱化の推進、橋りょう等の老朽化対策
R6.2月号		港湾	臨港道路・物揚場の補修
R6.3月号	現場の取組	全般	建設DX、工事現場見学会・出前講座の開催

### ■今月（令和6年3月号）の特集

今月は5か年加速化策の「**今後実施予定（港湾）**」を御紹介します！

# 『特集ページ』 ～今後実施（港湾）～



防災・減災、国土強靱化のための

## 5か年加速化対策

### 今後実施予定



岩手県  
Iwate Prefecture

1

## 港湾 臨港道路の補修

みやこし みやここう ひたちばま  
➤ 宮古市 宮古港（日立浜臨港道路）



対策前

【舗装の損傷】

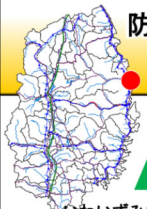


対策前

【排水側溝の損傷】

対策の  
内容

劣化した舗装や排水側溝などを補修することにより、安全に走行できるようにしていきます。



防災・減災、国土強靱化のための

## 5か年加速化対策

### 今後実施予定



岩手県  
Iwate Prefecture

2

## 港湾 物揚場の補修

いわいずみちやう おもとこう おもとはま  
➤ 岩泉町 小本港（小本浜地区）



対策前



対策前

【沈下により段差が発生】

対策の  
内容

沈下で段差が生じた物揚場を補修することにより、安全に利用できるようにしていきます。